

他の部門に付いては殊に報告することなし

期附職工の普通工編入

満洲事変の発生は國際聯盟の脱退、一九三五、六年の國際的危機に当面するが、至非常等監票は一昭和六年度元の若鷹内閣はより行政の整理は陸軍從業員の不景氣の不安り中止したがこれたる空氣を一一度して軍事予算増額となる。而して内業は著しく無性となり、吾等の名特工——大阪工廠だけて四千二百二十名——を募集したのである。

臨時工賃本主義の予盾と建設から産業予備軍として永く周失業地獄と生活窮乏の辛さ、シノギンの兄弟である。而して如何に若者たる職工と難へども劣悪なる條件の下に承くらう。臨時工として置くことは、國民思想上よりも社會へ道上より大なる問題である。

われ等はこの臨時工問題を審重に考へ、官業労働團同盟と協力して期附職工の普通工編入運動を起して昭和二年夏迄於て大阪工廠にて支給三百八百円、三月三十日、四月二十日、五月三十日納入させり。やがての運動は幾分実現したことあるが、尚ほこの問題は、職工たる時この問題を就いて全力を盡して手はなばならぬ。組合員の一層の協力を希望する。

共済組合評議員會

共済組合評議員會は官業労働團と交換する労働條件の一了まり、從つて之の結果又議員會にする評議員の地位とその意義は又重用と云ふねばならぬ。

大阪工廠の本会議員の評議員は毎年意見書を提出し、從業員の福利増進の爲めに斗争する。大阪陸軍被服支廠は於ても本春評議員会の開催を要請して開会せしめられたる組合の力を物語るものである。

向 上 会 譲 出 評議員氏名

大阪工廠
狹 周 與 吉 小 松 栄 次 郎 伊 勝 弼 佐 泉 重 三 郎
牧 谷 武 之 川 本 駿 順 阪 口 茂 松 山 喜 雄 雄
秋 丸 義 義 長 宗 清 一 岩 城 勲 太 郎 依 田 金 蔵

宮 本 静 一
大阪陸軍被服支廠
熊 崎 栄 蔭 大 野 亜 次 郎 鹿 野 由 松 辻 井 保 三 郎
堀 崎 半 二 郎 植 田 奎 介 森 吉 彬 太 郎 吉 田 音 吉

大阪联合会の成立

最初名古屋、大阪地方の官労加盟組合を以つて東西同盟会を組織してみたが、其後より実際的效果を擧げることが勢なかつた実際の徵ひ官業労働團同盟の組織變更の結果、在阪三团体(白上会、大阪市從業員組合、大阪煙草労働組合)と大阪联合会を組織し、昭和七年五月二十八日東業員組合にて結成大会を開催し、爾来聯合の連絡統一を緊密にして組合本末の使命遂行に邁進づゝある。